



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社 ヒラノテクシード
 コード番号 6245 URL <http://www.hirano-tec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡田薫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 安居宗則
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0745-57-0681

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,404	81.4	1,503	199.6	1,545	205.3	1,057	202.8
29年3月期第2四半期	6,285	0.2	501	94.4	506	66.9	349	78.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,160百万円 (233.1%) 29年3月期第2四半期 348百万円 (133.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	70.31	—
29年3月期第2四半期	23.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	32,964	24,060	73.0
29年3月期	33,714	23,140	68.6

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 24,060百万円 29年3月期 23,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	12.00	—	16.00	28.00
30年3月期	—	13.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	6.9	2,650	△12.3	2,700	△12.2	1,900	△16.7	126.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	15,394,379 株	29年3月期	15,394,379 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	350,751 株	29年3月期	350,436 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	15,043,829 株	29年3月期2Q	15,043,983 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2ページから3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済の企業業績は堅調であり、所得雇用環境の改善も続いており景気は回復基調で推移いたしました。

海外におきましても、米国は政策動向への懸念はありながらも、個人消費に支えられ順調に景気拡大を続けており、EUも一部改善に足踏み状態がみられたものの回復傾向で推移いたしました。

また、中国においても、高度な生産設備の導入などが加速し投資にも盛り上がりを見せ、堅調に推移しております。

このように、世界的に景気回復の兆しが現れるなか、当社グループは、「生産性の更なる向上」をスローガンに、徹底した品質管理を行い、価値ある技術を創出し続けるべく、新しい提案や新技術の要望にも積極的に取り組んでまいりました。

企業の設備投資に対する意欲は高まっており、スマートフォンや電気自動車関連市場への投資が活況を呈しており、受注、売上高ともに、電気・電子部材関連及びエネルギー関連分野向けを中心に高水準で推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,404百万円(前年同期比81.4%増)となり、利益面では営業利益は1,503百万円(前年同期比199.6%増)、経常利益は1,545百万円(前年同期比205.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,057百万円(前年同期比202.8%増)となりました。

受注残高につきましては、エネルギー関連分野を中心に推移し、22,780百万円(前期末比27.5%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(塗工機関連機器)

当セグメントは、二次電池向け電極塗工装置が堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は5,086百万円(前年同期比32.4%増)となりました。また、セグメント利益は690百万円(前年同期比31.8%増)となりました。

受注残高につきましては、10,836百万円(前期末比9.3%増)となりました。

(化工機関連機器)

当セグメントは、真空薄膜装置及び成膜装置が好調に推移いたしました。

その結果、売上高は5,304百万円(前年同期比190.7%増)となりました。また、セグメント利益は970百万円(前年同期比249.1%増)となりました。

受注残高につきましては、11,083百万円(前期末比48.8%増)となりました。

(その他)

当セグメントは、染色整理機械装置、各種機器の部品の製造及び修理・改造等を行っております。

売上高は1,014百万円(前年同期比63.4%増)となりました。また、セグメント利益は264百万円(前年同期比118.8%増)となりました。

受注残高につきましては、860百万円(前期末比73.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ965百万円減少し、25,433百万円となりました。その主な要因は、たな卸資産が266百万円増加したこと、及び売上債権が947百万円減少したことによります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ215百万円増加し、7,531百万円となりました。その主な要因は、投資その他の資産が220百万円増加したことによります。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ1,453百万円減少し、7,665百万円となりました。その主な要因は、前受金が1,327百万円減少したことによります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ215百万円減少し、1,238百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が229百万円減少したことによります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ919百万円増加し、24,060百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,057百万円計上したこと、前連結会計年度に係る期末配当金を240百万円支払ったことによります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは547百万円(前年同期は1,032百万円の収入)となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益が1,545百万円になったこと、未収消費税が245百万円減少したことによります。また、主な減少要因は売上債権が380百万円増加したこと、たな卸資産が301百万円増加したこと、法人税の支払額が517百万円あったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは214百万円(前年同期は258百万円の支出)となりました。主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入が122百万円あったことによります。また、主な減少要因は有形固定資産の取得による支出が128百万円あったこと、投資有価証券の取得による支出が251百万円あったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは513百万円(前年同期は46百万円の収入)となりました。主な減少要因は、長期借入金の返済による支出が320百万円あったこと、配当金の支払額が240百万円あったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しております「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,786,126	10,702,718
受取手形及び売掛金	7,334,472	6,342,043
電子記録債権	265,890	310,942
有価証券	2,399,983	2,304,991
仕掛品	4,815,976	5,074,480
原材料及び貯蔵品	82,428	90,676
その他	717,398	610,544
貸倒引当金	△3,415	△3,223
流動資産合計	26,398,862	25,433,174
固定資産		
有形固定資産	3,952,232	3,965,905
無形固定資産	111,394	92,763
投資その他の資産		
投資有価証券	2,711,820	2,981,390
その他	540,564	491,701
投資その他の資産合計	3,252,385	3,473,091
固定資産合計	7,316,012	7,531,761
資産合計	33,714,875	32,964,935

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,924,696	1,877,592
電子記録債務	2,031,712	3,083,567
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	640,392	549,278
未払法人税等	489,489	427,306
前受金	2,125,160	797,335
賞与引当金	189,009	192,863
製品保証引当金	80,692	68,307
その他	638,494	619,462
流動負債合計	9,119,647	7,665,711
固定負債		
長期借入金	686,144	456,426
役員退職慰労引当金	90,540	69,160
退職給付に係る負債	549,874	535,821
資産除去債務	14,594	14,741
その他	113,293	162,798
固定負債合計	1,454,446	1,238,948
負債合計	10,574,094	8,904,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,847,821	1,847,821
資本剰余金	1,339,722	1,339,722
利益剰余金	20,068,060	20,885,071
自己株式	△407,646	△408,131
株主資本合計	22,847,958	23,664,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	504,665	595,481
退職給付に係る調整累計額	△211,842	△199,689
その他の包括利益累計額合計	292,823	395,792
純資産合計	23,140,781	24,060,276
負債純資産合計	33,714,875	32,964,935

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,285,440	11,404,860
売上原価	4,952,338	8,986,049
売上総利益	1,333,101	2,418,810
販売費及び一般管理費	831,333	915,473
営業利益	501,768	1,503,336
営業外収益		
受取利息	6,063	3,479
受取配当金	23,905	25,292
その他	16,184	29,372
営業外収益合計	46,154	58,144
営業外費用		
支払利息	3,739	4,279
支払補償費	20,500	—
その他	17,302	11,467
営業外費用合計	41,541	15,747
経常利益	506,381	1,545,734
特別利益		
投資有価証券売却益	7,820	—
特別利益合計	7,820	—
税金等調整前四半期純利益	514,201	1,545,734
法人税、住民税及び事業税	130,914	477,222
法人税等調整額	33,971	10,797
法人税等合計	164,886	488,020
四半期純利益	349,315	1,057,714
親会社株主に帰属する四半期純利益	349,315	1,057,714

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	349,315	1,057,714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,450	90,815
退職給付に係る調整額	15,600	12,153
その他の包括利益合計	△850	102,969
四半期包括利益	348,464	1,160,683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	348,464	1,160,683
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	514,201	1,545,734
減価償却費	148,356	152,837
長期前払費用償却額	4,499	6,264
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,148	3,854
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△266	△192
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△83,556	△21,380
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△21,666	△12,385
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,094	5,352
受取利息及び受取配当金	△29,969	△28,772
支払利息	3,739	4,279
固定資産除却損	529	2,163
売上債権の増減額(△は増加)	2,675,094	△380,448
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,455,960	△301,548
仕入債務の増減額(△は減少)	1,085,295	△165,233
未払金の増減額(△は減少)	△218,829	16,291
未払費用の増減額(△は減少)	△9,076	△9,994
未収消費税等の増減額(△は増加)	76,817	245,852
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,453	3,299
その他	△19,036	△26,383
小計	1,656,960	1,039,590
利息及び配当金の受取額	29,889	28,772
利息の支払額	△3,739	△4,279
法人税等の支払額	△655,250	△517,919
法人税等の還付額	4,567	1,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,032,427	547,378
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△301,000	△401,000
定期預金の払戻による収入	201,000	401,000
有価証券の取得による支出	△2,299,920	—
有価証券の売却による収入	2,141,000	—
有形固定資産の取得による支出	△64,853	△128,365
有形固定資産の売却による収入	877	715
無形固定資産の取得による支出	△32,973	△1,899
投資有価証券の取得による支出	△63,168	△251,897
投資有価証券の売却による収入	212,848	122,337
その他	△51,862	44,824
投資活動によるキャッシュ・フロー	△258,052	△214,286

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	50,000
長期借入れによる収入	450,000	—
長期借入金の返済による支出	△271,314	△320,832
自己株式の取得による支出	—	△485
配当金の支払額	△180,394	△240,356
その他	△2,150	△1,547
財務活動によるキャッシュ・フロー	46,141	△513,221
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,756	1,729
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	812,759	△178,400
現金及び現金同等物の期首残高	12,220,213	11,147,110
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,032,973	10,968,710

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありましたヒラノ光音株式会社及び株式会社ヒラノエンテックの2社は、連結子会社のヒラノ光音株式会社を存続会社とする吸収合併をし、株式会社ヒラノK&Eに商号変更をしております。このため、株式会社ヒラノエンテックは消滅会社となり、連結の範囲から除外しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	4,178,070	+34.2
化工機関連機器	4,106,999	+186.5
その他	700,979	+72.4
合計	8,986,049	+81.5

- (注) 1. 金額は生産原価で、上記の内には外注生産によるものも含んでおります。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前期末比(%)
塗工機関連機器	6,007,319	+9.0	10,836,092	+9.3
化工機関連機器	8,938,549	+97.0	11,083,761	+48.8
その他	1,377,543	+30.6	860,885	+73.0
合計	16,323,411	+47.0	22,780,739	+27.5

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	5,086,203	+32.4
化工機関連機器	5,304,339	+190.7
その他	1,014,316	+63.4
合計	11,404,860	+81.4

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。